

学校通信『自分に自信と夢を』 第45号 文責 古澤

学校教育目標

自分に自信と夢を ～人に優しさを 学校に笑顔を 郷土に誇りを～

「自分に自信と夢を」とは → 命を大切にする大津小

- 自分のことが好き。自分のことを知る。命を守る（自尊感情を高めて自信をつける）
- 良いところを伸ばす（認め褒め励ます・成功体験を積み重ねることで自信をつける）
- 夢（目標）を持つ（行動すること・努力すること・やり抜くことで自信をつける）
- 挑戦する（知りたいこと・やりたいこと・困難なことへの挑戦により自信をつける）
- 夢を語る（夢の実現に向けて行動することで、自己の成長を実感することができる）
- ◎「分からない」「教えて」と伝え合う力を身に付ける（学びを深めて自信をつける）
- 「オールおおづ」でキャリア教育を展開する（幸せ感あふれる夢のある学校づくり）

「人に優しさを」とは → 友だちに優しい大津小

- 他の人のことが好き。他の人のことを知る（他の人を認めることができる）
- 相手の立場で考える（相手の思いや痛みを分かることができる）
- 友だちに寄り添える（友だちの悲しい思いや寂しい思いに気付くことができる）
- 豊かな感性で接する（すべての〔人・物・事〕を素直に受け入れることができる）
- 共に学び合い聴き合う（温かい言動で絆を深め、協力して共に伸びることができる）
- ◎多様性を受け入れる力を身に付ける。相手の話を最後まで聴く（共感力・創造力）
- 個性を伸ばし、絆を深める仲間づくりを実践する（人権が尊重される学校づくり）

「学校に笑顔を」とは

- 学校が好き・楽しい（授業が分かる・友だちがいる・安全で安心して学習できる）
- 児童や教職員の居場所があり、活躍する機会や場がある（頑張りが評価される学校）
- 伝統を発展的に継続するとともに、新たな良き伝統を創造する（学校創立31年目）
- 児童が集団の一員としての自覚を持ち、よりよい学校づくりに参画する（夢サミット）
- 凡事徹底。当たり前が当たり前でできる（そろえる・続ける、町3つの約束）
- ◎自分たちの課題を自分たちで把握し、その課題解決に取り組む（段取り力・協働力）
- 子どもたちを指導する教職員が笑顔（健康）である（働きやすい職場環境づくり）

「郷土に誇りを」とは

- ふるさと大津が好き（教育活動の成果を家庭や地域へ発信し、大津を誇りに持つ）
- 地域から愛される学校（地域の支えや見守りがあり、学習できることに感謝する）
- 地域とともにある学校（家庭や地域と連携・協働して、地域への社会貢献をする）
- 大津を知る（地域の一員としての自覚を持ち、大津の歴史・自然・産業・文化を知る）
- 大津の〔もの・こと〕を体験する（大津町の事業や地域行事へ積極的に参加する）
- ◎家庭・地域から積極的に学び取り、自分の生活・学習に生かす。（五者で共有する）
- 「社会に開かれた教育課程」を実現する（地域住民に信頼される学校づくり）



今年度の学校教育目標は、昨年度に引き続き「自分に自信と夢を ～人に優しさを 学校に笑顔を 郷土に誇りを～」と掲げました。この教育目標は、全ての教育活動の根幹をなすものであり、全職員が教育目標を常に意識し、その達成に向けて学校全体で取り組んでいかなければなりません。そこで、前年度末（2月）に子どもたちに育てたい資質・能力を学年部ごとに話し合い、今年度の学校教育目標の重点目標（○）の項目に（◎の項目）として新たに付け加えています。

4月、20名の先生方を迎えました。歓迎のくす玉には、「ようこそ大津小へ 自分に自信と夢を」と書かれていました。新しい先生方を含め「オールおおづ」の先生方と、学校教育目標でスタートできたことをとても嬉しく思いました。

今日から地区別の分散登校が始まりました。学校が再開すれば、児童会を始め大津小の子どもたちとも、学校目標に向かって取り組んで参りたいと思います。